

マヤプシキ

じゅんげつめつ き く
準絶滅危惧

か めい
科名 ハマザクロ

べつ めい
別名 ハマザクロ

がくめい
学名 *Sonneratia alba*



く ぶん
区分 木本類

ぶん ぶ
分布 西表島 (自生北限)、東南アジア、アフ
リカ東部等

は かたち
葉の形 卵形

は ぶち
葉の縁 全縁

は さき
葉の先 鈍形

は しゅるい たんよう
葉の種類 単葉

は つきかた たいせい
葉の付方 対生

は き ぶ えんけい
葉の基部 円形

み しゅるい
実の種類

はな がくいろ しろいろ お
花・萼色 白色 (雄しべ)

せつ だ
説明 マングローブ林の最も海側部分に生育します。高さ約10m位になります。地中から突き出した呼吸根(筍根)が特徴です。西表島では大原から古見までの東部地域に多く生育し、西部では数本程度が確認されているだけです。葉は両面で光合成ができる仕組み(等面葉)になっており、葉の先は鈍形です。実がヤマネコ(マヤ)のおへそ(プシキ)に似ていることから、マヤプシキといいます。また、実の中の種子がザクロに似ています。